

『第21回 庄内・社会基盤技術フォーラム』を開催します ～「産・学・官」共同の技術フォーラム～

庄内地方所在の「産・学・官」で組織する「庄内・社会基盤技術フォーラム運営委員会」では、庄内地方における土木・建築・環境技術の進歩及び技術者の資質向上を図ると共に、他地域に対し意見・情報を広く発信することを目的に、「第21回庄内・社会基盤技術フォーラム」を開催します。

【庄内・社会基盤技術フォーラムの概要】

- 〈日 時〉 平成28年1月21日（木） 13:30～17:30（受付開始13:00～）
〈会 場〉 酒田市公益研修センター（東北公益文科大学キャンパス内）
〒998-8580 酒田市飯森山3-5-1
〈内 容〉 ○特別講演「事前復興と地域創生」
神戸大学 名誉教授 室崎 益輝 氏
○事例・研究発表 16題
〈聴 講〉 定 員：500名程度
〈参加費〉 無 料（ただし、講演概要集は1部800円で販売いたします。）

【フォーラムの特徴】

- (社)土木学会の継続教育（CPD）プログラムとしての認定を受け実施します。
発表者、受講者には(社)土木学会よりCPD単位証が交付されます。
※CPD：Continuing Professional Development→継続的な専門能力開発
- 土木技術の研究開発、環境・リサイクルに関する研究開発、地域づくり活動等について事例発表します。
- 大学、高専、高校の学生による発表があります。

【主 催】

庄内・社会基盤技術フォーラム運営委員会

委員長：安中 武幸 山形大学農学部教授

構成員：山形大学農学部、東北公益文科大学、鶴岡工業高等専門学校、
酒田光陵高等学校、鶴岡市、酒田市、国土交通省酒田河川国道事務所、
国土交通省酒田港湾事務所、東日本高速道路(株)鶴岡管理事務所、
(社)建設業協会鶴岡支部、(社)建設業協会酒田支部、前田製管(株)

【フォーラム設立の主旨】

庄内地域の土木技術者のレベルアップと連帯感を高めることをねらいとして、産学官の土木技術者有志が連携し、研修及び交流の場を提供することにより、地域の土木技術者が新しい技術動向をとらえ、更に他地域への情報発信をめざすことを支援し、地域の発展に貢献する事を目的とし、平成11年に設立したものです。

[添付資料] プログラム

発表記者会：酒田記者クラブ、鶴岡記者会

問い合わせ先

庄内・社会基盤技術フォーラム運営委員会・事務局

石井 宏幸 0234-27-3494(国土交通省酒田河川国道事務所 調査第二課長)

田澤 稔幸 0234-33-6313(国土交通省酒田港湾事務所 工務課長)

高橋 修二 0235-22-8772(東日本高速道路(株)鶴岡管理事務所 工務担当課長)

小池 禎一 0234-23-5110(前田ホールディングス(株)総務・人事グループ 次長)

プログラム

13:30～13:35	開会挨拶 安中 武幸 庄内・社会基盤技術フォーラム運営委員長			【多目的ホール】		
13:35～15:10	特別講演 「事前復興と地域創生」 室崎 益輝 (神戸大学 名誉教授)			【多目的ホール】		
15:10～15:20	休 憩					
※	事例・研究発表					
(15:18) 発表の進行 説明	A会場：環境 司会：藤原 久 (東北地方整備局 酒田河川国道事務所)	【多目的ホール】	B会場：施工技術 司会：鈴木 真司 (東北地方整備局 酒田港湾事務所)	【中研修室1】	C会場：地域づくり 司会：高橋 正則 (東日本高速道路(株)東北支社 鶴岡管理事務所)	【中研修室2】
15:20～15:35	赤川における河道内樹木の繁茂対策について 星 淳一 (酒田河川国道事務所 調査第一課)		コアングダ効果を利用したオープンクロスフロー型 水車の出力調整 伊藤 祐太(鶴岡工業高等専門学校)		下水処理水の掛け流し灌漑による飼料用米の栽培 倉島 須美子(山形大学 農学部)	
15:40～15:55	河川の生物膜から分離された大腸菌の薬剤耐性 釜屋 隆一、伊藤 麻巳子、佐藤 菜々美、本間 梓 (山形県立鶴岡南高校)		鶴岡管内における橋梁補修優先順位付けの一考察 千葉 仁裕(株)ネクスコ・エンジニアリング東北 鶴岡事業所 保全計画課)		「鶴岡バイオガスパワー」公民連携で取り組む F I Tを活用した消化ガス発電事業 齋藤 浩太(鶴岡市下水道課浄化センター)	
16:00～16:15	牡蠣からのノロウイルス、アイチウイルス、トウ ガラシ微斑ウイルスの検出 伊藤 絵里香(山形大学 農学部)		農業用大型水路の目地施工について 佐藤 純(東北農政局 赤川農業水利事業所 工事第二課)		道の駅の情報発信機能の向上に向けて 高橋 明日香(酒田河川国道事務所 調査第二課)	
16:20～16:35	抗生物質添加による活性汚泥細菌の種構成変化 三浦 逸実(山形大学 農学部)		長期保証を付した新設アスファルト舗装工事の 試行結果について 根本 勇一(酒田河川国道事務所 道路管理課)		港湾施設におけるゴミ処理の取組み 露木 健(山形県港湾事務所)	
16:40～16:55	公園照明灯省エネルギー化の推進について 今野 嵐 (酒田市建設部 都市計画課)		酒田港北防波堤におけるケーソンの穴空き補修に ついて 大場 昌幸(酒田港湾事務所 工務課)		余目酒田道路開通に伴う通行方法の周知について 奈良 匠 (酒田河川国道事務所 工務第二課)	
17:00～17:15	酒田港大浜海岸を対象とした藻場造成実験につい て～産業副産物の更なる有効利用～ 佐藤 基次 (酒井鈴木工業株式会社)					
17:00～17:10			講 評：上原 修二 (東北地方整備局 酒田港湾事務所)		講 評：大貫 利文 (東日本高速道路(株)東北支社鶴岡管理事務所)	
17:20～17:30	講 評：樋口 和則 (東北地方整備局 酒田河川国道事務所)					